

みんなで作る 住みやすいまち 古城



も く じ

ごあいさつ	2p
第1章 古城校区の現状と課題	3p
1 地域社会の動向	
2 地域の福祉課題	
第2章 計画策定にあたって	4p
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第3章 計画体系	5p
1 基本理念、基本目標、実施項目(体系図)	
2 重点実施項目	
第4章 計画の推進	7p
1 計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第二次計画の策定	
参考資料	8p
1 策定委員会名簿	
2 策定委員会での協議事項及びふくしのまちづくり講座	
3 推進委員会名簿	



ごあいさつ

平素より、校区の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。まず初めに、地域社会の発展と住民の皆様の生活向上に日々尽力していただいている校区の役員・スタッフの皆様に、心から感謝の意を表します。

古城校区では、地域の課題解決に向けて様々な取り組みを行い、住民の皆様が安心して暮らせる社会を作るために努力しています。地域に根ざした活動を通じて、住民一人ひとりが互いに支え合い、協力し合うコミュニティを築いていくことを目指しています。

昨今、社会環境や生活様式は急速に変化し、新たな課題やニーズが浮かび上がっています。それに伴い、私たちの役割もますます重要になっていると感じています。高齢化社会の進行や災害への備え、地域づくりの活性化など、さまざまな課題に対応するために、校区の関係機関・団体で一丸となって取り組んでまいります。

また、今後も皆様の声に耳を傾け、地域の特性に応じた柔かつ実効性のある施策を展開していく所存です。地域の皆様と共に、より良い未来を切り開くために、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に、校区の活動が一層充実し、地域全体がさらに発展していくことを心より願っております。どうぞ、これからもご指導、ご報を賜りますようお願い申し上げます。



古城校区社会福祉協議会
会長 増田 英司



第1章 古城校区の現状と課題

1 地域社会の動向

校区基本データ

令和6年9月末現在

人口	3,248 人	小学校	港ヶ丘小学校
世帯数	1,865 世帯	中学校	早鞆中学校
高齢化率	40.5%	公民館・市民センター	古城市民サブセンター
65歳以上	1,314 人	地域包括支援センター	門司2
福祉協力員	47人	民生委員児童委員	5人
その他社会資源等	グループホーム、病院、公園等		

古城校区は、北九州市の最北端に位置しており、関門国道トンネルの車道・人道の出入り口があり、九州の玄関口となっています。関門海峡と古城山の間にある和布刈公園は、瀬戸内海国立公園の一部です。

海岸には古い倉庫跡があり、門司港レトロ地区として観光客に人気のスポットとなっており、利便性が高く、マンションも多い地域となっています。下関に近い旧門司付近は、傾斜地に沿って昔ながらの一戸建てが多い地域となっています。

旧暦の元旦にワカメを刈り取って神前に供え、航海の安全と豊漁を祈る伝統の行事「和布刈神事」や伝統芸能「文字ヶ関太鼓」等、後世に伝えていきたい歴史や文化も多くある地域です。

2 地域の福祉課題

古城校区では高齢化率が40パーセントを超え、今後の災害への備え、地域づくりの活性化など、さまざまな課題に対応するために、地域住民や校区の関係機関・団体で一丸となって取り組んでいく必要があります。

福祉活動を進めていく上で、

- (1)活動や行事への参加・周知
- (2)地域住民や校区の関係機関・団体の連携
- (3)次世代の担い手確保
- (4)子どもたちが集まりやすい催しの工夫
- (5)暮らしやすい環境づくり

(災害時の対策や鳥獣対策、公園管理等)
等が課題として挙げられました。



第2章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、古城校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、古城校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・門司区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・門司区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 古城校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

令和7年度～令和11年度までの 5 カ年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

古城校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、古城校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置しました。令和6年11月20日に立ち上げた同委員会において、10名の委員により5回に及び協議の上、古城校区小地域福祉活動第一次計画を策定しました。(P9参考資料を参照)



第3章 計画体系

1 体系図

基本理念

みんなでつくる 住みやすいまち 古城

地域の活動を通して一人ひとりが互いに支え合い、**住みやすい古城のまち**を
みんなでつくっていくこと目指し、基本理念としました。

基本目標1

ふれあいの輪を広げ
繋がりを深めよう

- ふれあいネットワーク活動
 - ・見守り活動
 - ・話し合い活動
 - ・助け合い活動
- しおかぜ朝市
- ふれあい昼食会

基本目標2

子どもたちを
みんなで守り、育てよう

- 多世代交流行事や伝統の継続
 - ・古城まつり
 - ・文字ヶ関太鼓
 - ・昔遊び
- ◎ キッズなまちづくり
- 安全パトロールによる見守り活動

基本目標3

みんなが暮らしやすい
まちをつくろう

- まち美化清掃
- 瀬戸内海環境保全清掃
- 災害への備え
- 資源回収
- カラス対策
- みんなの公園(みんなが使いたくなる公園づくり)

基本目標4

体をほぐして健康づくり

- グランドゴルフ大会
- サロンOF古城
- ラジオ体操
- 新しいサロン(リズム体操や健康講話、カラオケ等)

○現在ある活動 ●これから始めたい活動 ◎ 重点的に実施する項目

2 重点実施項目



重点実施項目

キッズなまちづくり

1 課題背景及び地域の現状

子ども会がなくなり、地域の子どもたちやその親世代とつながる機会が減ってきている。また、地域のつながりやふれあいが希薄化する状況下で、活動の中心を担う新人発掘が困難になっている。

2 活動の方針・目標

現在実施している活動や行事に子どもが参加する機会を増やし、親子で地域に興味を持ってもらうことで、つながりの輪を広げていく。

3 段階的な取組みの年次計画

取組み内容	連携する機関	R7	R8	R9	R10	R11	備考	
ふれあいスポーツ大会	・社会福祉協議会 ・自治会 ・まちづくり協議会 ・婦人部 ・老人クラブ ・古城保育園 ・港が丘小学校児童クラブ	モデル実施しながら実施方法を検討			eスポーツについて情報収集	本実施	・グラウンドゴルフ ・縄跳び ・30m走 ・親子でできる競技 ・eスポーツ ・公園の活用	
イベント型ゴミ拾い		現在ある活動を継続しながら内容を追加					・宝探し ・スポーツゴミ拾い ・親子でゴミ拾い	
古城まつりの充実		現在ある活動を継続しながら内容を追加			子どもへのアンケート		子どもが参加したくなる内容の企画	
趣味発表の場		カラオケ発表の継続			PR方法検討		・子どもが古城で見つけた素敵な場所写真コンテスト等	
広報		配布先や配布内容、SNSについて検討			写真コンテスト実施			
	実施しながら見直し						・新しいマンションの子育て世代に向け、チラシを作成してPR	

第4章 計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

- (1) 校(地)区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- (2) 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- (3) 計画書概要版の配布等を通じた校(地)区住民への周知
等、計画を推進していくために、計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、古城校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理を行います。

① 関係機関・団体との連携 ② 計画内容の具体的な実施方法 ③ 進行管理の実施等について、委員会で協議を進めていきます。

(2) 計画の進行管理

古城校区小地域福祉活動計画推進委員会を年3回程度開催します(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催)。

委員会では、PLAN(計画立案)DO(実行)CHECK(点検・評価)ACT(改善)というPDCAのサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合には、その原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

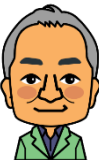
3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期(計画第5カ年度)には新しく第二次計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



【参考資料】

1 古城校区小地域福祉活動計画策定委員会(絆古城) 委員名簿 (令和6年11月時点)

	氏 名	所属団体・役職
1	ますだ えいじ 増田 英司 	古城校区社会福祉協議会 会長 古城校区自治連合会 会長 古城校区まちづくり協議会 会長 民生委員児童委員 少年補導員
2	まつだ しんいち 松田 伸一 	古城校区自治連合会 副会長 古城校区まちづくり協議会 副会長 門司区防犯協会 会長
3	ふじもと ふとし 藤本 太 	古城校区自治連合会 副会長 文字ヶ関太鼓保存会 代表
4	もりざね ゆきはる 森實 幸治 	古城校区 監査
5	くまげや たけお 熊毛屋 武雄 	古城校区 監査
6	やなぎだ まもる 柳田 藩 	古城校区 事務局長 少年補導員
7	ともせ たかし 友瀬 隆 	古城校区老人クラブ 会長
8	いまとみ 今富 ナラエ 	古城校区社会福祉協議会 副会長 古城校区 婦人部 部長
9	その 園 さおり 	古城校区 書記
10	み か み 三上 順子 	古城校区 事務員

2 計画策定委員会での協議事項及びふくしのまちづくり講座

(1)計画策定委員会

回	開催日	主な協議事項
1	令和6年11月20日	・既存の取り組みの整理 ・地域の良い所、困りごとの整理 ・重点実施項目の検討
2	令和6年12月18日	・実施計画の作成 ・体系図の見直し
3	令和7年 1月21日	・実施計画の作成 ・体系図の見直し ・ふくしのまちづくり講座の意見確認
4	令和7年 2月18日	・重点実施項目のタイトル決め ・体系図の見直し ・計画書のデザインを検討
5	令和7年 3月18日	・計画書の校正見直し ・推進委員会の開催頻度等について検討

(2)ふくしのまちづくり講座「みんなでつくる 古城のふくしプラン」

回	開催日	内容
1	令和7年1月16日	・ちょっと先の「わたしたちのまちの福祉はこうなったらいいな」の思いをカタチにした計画について ・珠洲市災害ボランティアセンター派遣報告からみんなが安心して暮らせるまちづくりを考える
2	令和7年1月30日	・よりよいまちを目指して ～古城校区の小地域福祉活動計画について～ ・できたらいいな、こんなサロン ～懐メロで 笑って 楽しく音楽体操 ～



3 古城校区小地域福祉活動計画推進委員会 委員名簿

	氏 名	所属団体・役職
1	ますだ えいじ 増田 英司 	古城校区社会福祉協議会 会長 古城校区自治連合会 会長 古城校区まちづくり協議会 会長 民生委員児童委員 少年補導員
2	やなぎだ まもる 柳田 藩 	古城校区自治連合会 副会長 古城校区まちづくり協議会 副会長 少年補導員
3	ふじもと ふとし 藤本 太 	古城校区自治連合会 副会長 文字ヶ関太鼓保存会 代表
4	もりざね ゆきはる 森實 幸治 	古城校区 監査
5	くまげや たけお 熊毛屋 武雄 	古城校区 監査
6	ともせ たかし 友瀬 隆 	古城校区老人クラブ 会長
7	いまとみ 今富 ナラエ 	古城校区社会福祉協議会 副会長 古城校区 婦人部 部長
8	その 園 さおり 	古城校区 書記
9	み か み 三上 順子 	古城校区 事務員

お問い合わせは下記連絡先へ／
一緒に

やってみませんか？

文字ヶ関太鼓保存会



山口県・下関の「平家踊り」をもとにしており、
太鼓や三味線の演奏に乗った口説きに合わせて
踊るのが特徴の文字ヶ関太鼓。

実は江戸時代から伝承されている**古城の伝統芸能**!!

練習の見学や体験も随時受付中!!

一緒に伝統を継承していきませんか？

／門司みなと祭にも出演するよ／



みんなが使う公園を キレイにしたい

特に内堀川公園で一緒に
活動してくれる方を募集中／



古城校区にある文字ヶ関公園や内堀川公園。

現在は有志で草抜きやゴミ拾いをしています。

これからも地域みんなが使いたくなるような公園で
あってほしい!!

みんなが使う公園を一緒にキレイにしませんか？

キッズなまちづくり



これから重点的に取り組んでいく**新しい活動**!!

子どもから大人まで楽しく活動に参加して欲しい!!

ふれあいスポーツ大会や古城まつり等ワクワクする
イベントが盛りだくさん ✨

子どもと関わる活動や広報活動の手伝いをしたい
という方も随時募集しています 😊



〒801-0856

古城校区社会福祉協議会

北九州市門司区浜町6番25号 古城市民サブセンター内

TEL 093-321-3070